

板橋区障がい者計画2023の進捗状況について

板橋区障がい者計画2023(以下、「本計画」という。)における令和3年度の進捗状況を、第2回自立支援協議会において報告したが、次のとおり訂正し報告する。

1 訂正箇所

板橋キャンパス(都有地活用)整備について、令和3年度の事業実績

コロナ禍による建設資材の高騰などの影響により、事業自体の見直しを行うこととなった。代替案を早急に模索し、受入枠の確保を図っていく。



板橋キャンパス(都有地活用)整備については、東京都及び運営予定法人との協議を継続的に実施。

2 訂正理由

板橋キャンパス(都有地活用)整備の事業見直しを行うこととなったのは、令和4年5月(令和4年度)のため、令和3年度の実績を訂正する。

3 実績を訂正する事業

(1)事業番号 79 緊急時受入れ体制の整備・充実

《計画》

担当課	障がい政策課		
事業概要	<p>介護者の急病や障がいのある人の状態変化などの緊急時の受け入れや医療機関への連絡などの必要な対応を行う機能について、赤塚ホームにおける受入れの充実を検討するとともに、板橋キャンパス(都有地活用)に整備予定の短期入所施設において、受入れ枠を確保します。(令和5年3月予定)</p> <p>また、受入れ枠の充実を図るため、民間の短期入所施設との連携、協力体制の確保を検討していきます。</p>		
年度別計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業所との連携体制の確保による充実 赤塚ホームの活用検討 	<ul style="list-style-type: none"> 民間事業所との連携体制の確保による充実 赤塚ホームの活用検討 板橋キャンパス整備 	検証・充実

《実績》

- 緊急時の受入を行った際に支給する報酬を整理した。
- 基幹相談支援センターにおいて、支援者向けの短期入所の社会資源ガイドマップを作成し、緊急時の受入につながりやすい環境整備を実施することで、民間事業所との連携体制確保による充実を図った。
- 赤塚ホームでの受入の充実を図るため、人員体制の強化等を協議を進めた。引き続き検討していく。
- 板橋キャンパス(都有地活用)の整備については、東京都及び運営予定法人との協議を継続的に実施。

(2)事業番号 80 一人暮らしの体験の機会・場の確保

《計画》

担当課	障がい政策課		
事業概要	<p>地域移行支援や親元からの自立などに当たって、共同生活援助(グループホーム)などの障がい福祉サービスの利用や一人暮らしの体験の機会・場を提供する機能について、板橋キャンパス(都有地活用)に整備予定の共同生活援助施設(グループホーム)において、受入れ枠を確保します。(令和5年3月予定)</p> <p>また、受入れ枠の充実を図るため、民間の共同生活援助施設(グループホーム)との連携、協力体制の確保を検討していきます。</p>		
年度別計画	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	民間事業所との連携体制の確保による充実	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業所との連携体制の確保による充実 ・板橋キャンパス整備 	検証・充実

《実績》

- 地域自立支援協議会就労支援部会において、就労体験の場について協議を行った。
- 板橋キャンパス(都有地活用)の整備については、東京都及び運営予定法人との協議を継続的に実施。